

# 平成26年度 奈良県国土利用計画審議会

## 議 事 概 要

- [日 時] 平成27年2月12日(木) 10:00～11:30  
[場 所] 奈良商工会議所 4階 小ホール  
[出席委員] 伊藤会長、瀬渡委員、平井委員、古田委員、増井委員、  
宮本委員、矢追委員、山本委員、吉村委員  
(五十音順、以上9名)

### [議 題]

#### (1) 奈良県土地利用基本計画の変更について(諮問)

土地利用基本計画は、土地利用基本計画書(文章表示)と土地利用基本計画図で構成。今回は、土地利用基本計画図の変更について諮問。

### 【 変更理由 】

#### ① 農業地域の拡大:

周辺の農業地域と一体化して総合的な農業の振興を図るため

#### ② 森林地域の縮小:

計画的な開発事業が進められたことで、森林ではなくなったため

### < 審議の結果(答申) >

諮問案件については、原案どおり承認された。

### [報告事項]

#### (1) 許可済等林地開発について

林地開発により今後、森林地域の縮小が予定されている森林について、事務局から報告した。

#### (2) 土地利用の現況等について

第四次奈良県国土利用計画に定めた各土地利用区分別面積目標等に対する推移及び取り組み等について事務局から報告した。

[その他]

<テーマ>

「次期国土形成計画、国土利用計画の検討について」

国土のグランドデザイン 2050 の概要と、新たな国土形成計画（全国計画）中間整理の概要について国土交通省から説明。

[主な質疑・意見等]

- (委員) メガソーラー事業は増えていく見通しかと思うが、今後の見通しはどうか。どういった見通しで増えていこうとしているのか。
- (事務局) 経済情勢等により変わってくるかと思いますが、何件か許可の相談が来ているような状況です。
- (委員) 太陽光パネルについて、自然エネルギー普及は大切なことだが、主に雨水に係る防災対策をしっかりとっていただきたい。
- (委員) 森林地域の中で岩石採取事業が終了し資材置き場にするようだが、例えば産業廃棄物の捨て場にならないようにチェックする体制はあるのか。
- (事務局) 不法投棄があれば関連する法令に基づいて対応させていただきます。また、景観・環境総合センターが廃棄物関係の環境パトロールを行っています。
- (委員) 森林を開発して太陽光パネルを設置した場合、森林ではなくなるが、何になるのか。工場用地としてとらえるのか。
- (事務局) 電気業については製造業の一種であり、業としては工業として認識しています。
- (委員) 木を切ってコンクリート等で整地した場合に土地に浸水性がなくなるが、心配ないのか。
- (事務局) 林地開発の許可を出す場合、例えば30年に一度の大雨に対応できるような排水施設を設置する基準になっています。
- (委員) 工業用地の平成30年の目標値に達するにはあと3年で1.5倍増やさなくてはならない。計画見直しなど考えているのか。
- (事務局) 京奈和自動車道と西名阪自動車道がジャンクションで結ばれ、また、磯城郡で京奈和自動車道の側道ができます。県では郡山インターチ

エンジを含む周辺等で工場用地を確保していこうとしているところ  
です

- (委員) 全国的に空き家の増加が問題となっているが、奈良県の住宅地開発の最近の動向はどうなっているのか。
- (事務局) 分譲宅地を目的とした開発許可申請の件数に落ち込みは見られません。県の西側、生駒市、香芝市、葛城市、北葛城郡での住宅地開発の申請が多い状況です。
- (委員) 県内でも空き家が増えているが、中古住宅の質が悪いものが多く、耐震工事やリフォームをしないと流通しない現状がある。
- (委員) 王寺町でも空き家率が高いため、中古住宅を再生するために、若い方に住んで貰ってリフォーム代を助成することも検討している。
- (委員) 日本各地で外国人が森林等を購入しているという話を聞くが、現状はどうか。
- (国交省) いわゆる外国人土地問題については、森林売買に係る届出を見る限り、リゾートや別荘目的での購入であり、国土利用計画上、規制するほどの問題にはなっておりません。
- (委員) 人口が減少し、今後農地や森林の管理をする人手がいなくなる。「住む」ということがないと地域を守ることは出来ない。特に奈良県は7割が山というなかで国には抜本的な対策をお願いしたい。
- (委員) 新たな国土形成計画に関して、時間軸の設定とはどういうことか。
- (国交省) 従来の国土形成計画では施策の方向性を示していたが、昨今のPDCAの流れもあり、項目毎にいつまでに何をするのか、計画の工程を書き込もうと思っています。